

(別添様式1)

## 平成29年度 探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業実施計画書

### 1. 学校の概要 (4月7日現在)

ふりがな	すさきしりつあさがおかちゅうがっこう				ふりがな	たけだとしひろ		教員数
学校名	須崎市立朝ヶ丘中学校				学校長名	武田 敏宏		20
	第1学年	第2学年	第3学年	特別支援学級	計	ふりがな	しまだあさこ	
生徒数	54	68	66	4	192	研究推進教諭	島田 朝子	
学級数	2	2	2	2	8	ふりがな	しまだあさこ	
						研究主任	島田 朝子	

### 2. 研究主題

探究的な力を育むための授業づくり  
～思考力・判断力・表現力を高め、学力向上をめざした指導方法の在り方～

### 3. 研究仮説

生徒一人一人が「自己成長力」を身に付けるために社会とのつながりを意識させ、各教科等における取組の連携を図ることで、自ら課題を発見し、主体的・協働的に探究し、学びを深めていくことができるだろう。

### 4. 研究内容・方法

研究内容	研究方法
<ul style="list-style-type: none"><li>各教科と総合的な学習の連携を各学年で計画的に実施と協働的な学びの構築。</li><li>全国学力・学習状況調査や高知県学力定着状況調査の分析、到達度の把握、授業改善についての研究。</li><li>教職員全体での授業研究への参加と協働的な学びの実践。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>4月下旬から5月初旬にかけて総合部会・授業づくり部会において原案をR-PDCAモデルに沿った多様な活動の計画と実践を行えるよう研修職員会で提案し、共有を図る。</li><li>8月の校内研修において分析・到達度を把握し、その後、教科部会において授業改善について検討し、授業づくり部会と連携して研究を行う。</li><li>プロジェクト会を継続的に行い、指導案の検討や授業づくりにおいて各教科の特性を生かした授業改善の工夫や他教科からの情報なども生かしながら互いに学びを深めていく。</li></ul>

## 5. 検証内容

指標	達成目標	時期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査における生徒質問紙の項目の中の総合的な学習の時間についての質問項目の肯定割合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(56)「総合的な学習の時間では自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」の項目の肯定割合を昨年より5ポイント上昇させる。</li> </ul>	8月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力チェックシートにおける肯定的割合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業構成における「目的に沿った話し合いや意見交流により自分の考えを深めたり広げたりすることができた。」という項目の肯定割合を昨年度より5ポイント上昇させる。</li> </ul>	6月 11月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間で育った学力についての調査における肯定割合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習方法に関する視点として「相手や目的に合わせて自分の考えを深めたり広げたりすることができた」などの質問項目の割合が昨年度より5ポイント以上上昇させる。</li> </ul>	5月 11月

## 6. 研究成果の普及の方法

普及内容	方法	時期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科と総合的な学習の連携を各学年で計画的に実施と協働的な学びの構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業づくり・総合部会と連携した学び合いの場の設定、継続した学び合い。</li> </ul>	随時
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員全体での授業研究への参加と協働的な学びの実践。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業</li> <li>・研究発表会</li> </ul>	6月7月10月 11月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページで研究内容を公開する。</li> </ul>		随時

## 7. 年間事業計画

月	本事業に係る取組		
	校内研修・講師招聘の研修等	公開授業・研究発表会 ※校外に案内する会	県内外での研修・ 先進校視察等
5月	○校内研修・指導案検討会【プロジェクト会】 総合部会 ○総合的な学習の時間で育った学力についての調査と分析① ○授業力チェックシートの分析と検討①	・	
6月	○校内研修・指導案検討会【プロジェクト会】 総合部会	公開授業研(第Ⅰ期) 6日(国・数)	○先進校視察 京都教育大学附属桃山小中学校・大阪市立旭陽中学校 京都市立下鴨中学校
7月	○校内研修(1学期のまとめ)	公開授業研(第Ⅰ期) 7日(音・道)	
8月	○校内研修・総合部会 ○指導案検討会 【第Ⅱ期公開授業研に向けて・・・】 ○全国学力・学習状況調査分析		25日:次世代型教育推進セミナー(於/サンピアセリーズ)
9月	○指導案検討会【プロジェクト会】		
10月	○指導案検討会【プロジェクト会】 総合部会	公開授業研(第Ⅱ期) 31日(保体・家・美)	探究的な授業づくり指定校の研究発表会への参加
11月	○指導案検討会【プロジェクト会】 ○研究発表会 ○総合的な学習の時間で育った学力についての調査と分析② ○授業力チェックシートの分析と検討②	公開授業研(第Ⅱ期) 15日(水) 研究発表会(英・理・社・総合) 第2回評価委員訪問	探究的な授業づくり指定校の研究発表会への参加
12月	○校内研修(2学期のふりかえり) ○学校評価アンケート ○授業評価アンケート		
1月	○校内研修 (アンケート結果から分析とまとめ)		
2月	○校内研修 (今年度をふりかえって・来年度の計画について)		

## 8. 県外研修・先進校視察等計画書(別葉)

## 9. 加配教員の活用(別葉)

## 10. 県外研修・先進校視察等計画書（別葉とすること）

市町村名（ 須崎市 ）

### 1 研修・視察者

所 属	職 名	視察者氏名
須崎市立朝ヶ丘中学校	教諭	島田朝子
須崎市立朝ヶ丘中学校	教諭	秋澤夢子

### 2 研修・視察先 / 期日 / 日程

研修・視察先	学校名等	住 所	電話番号
	大阪市立旭陽中学校	大阪市旭区高殿 5 丁目 9-31	06695-15531
京都教育大学附属桃山小中学校	京都市伏見区桃山 16	075-611-0268	
京都市立下鴨中学校 (交渉中)	京都市左京区下鴨泉川町 40-1	075-781-9181	
期 日	平成 29 年 6 月 22 日～23 日		
日 程	内 容	備 考	
6 月 22 日 13:30～17:00	大阪市立旭陽中学校で授業見学・教育実践の聴取及び意見交換	タブレットコンピューターを活用した授業等を視察	
6 月 23 日 8:15～11:00	京都教育大学附属桃山小中学校で授業見学・教育実践の聴取及び意見交換		
13:30～17:00	京都市立下鴨中学校で授業見学・授業実践の聴取及び意見交換（交渉中）		

### 3 研修・視察内容還元計画

- (1) 校内研修において視察校の取組の紹介
- (2) 須崎市校長会・教頭会・研究主任会等で取組の紹介
- (3) 校内プロジェクト会での授業検討会において、ICT機器を活用した授業展開を行うための助言
- (4) 研究発表会において視察校の取組の紹介

※研究発表会に参加する場合は、要項を添付してください。

※県外研修・先進校視察等報告書（別紙様式 1 及び 2）は、公開を前提として作成し、**実施後 1 か月以内**に提出してください。公開に際しては、必要な修正を行う場合があります。

## 9. 加配教員の活用（別業とすること）

学校名 須崎市立朝ヶ丘中学校

校長名 武田敏宏

印

研究推進の中核となる教員	氏名	島田朝子	在籍年数	3年
	校務分掌及び時数	研究主任・10.6時間（音楽6.6 数学 特別支援2 数学T.T2）		
加配教員が担う推進内容	<p>(1) 各教科の授業(特に2年生)において、少人数指導やT.Tとしての支援による学力保障。定期テスト対策のロング加力など、学校全体の学力向上のための方策を学校全体へ普及。</p> <p>(2) 「ぼうけんくん」やデジタル教科書などのICT教材を活用した授業構成や基礎学力定着のための取組推進と学校全体への普及。</p> <p>(3) 教職員全体の授業力向上のため、授業研究を中心とした全校研修での資料やアンケートのまとめ・分析の実施。</p> <p>(4) 総合部会との連携により総合的な学習の時間について、学校全体で効果的に取組むための組織づくりの推進。</p>			
推進方法 検証方法	<p><b>【検証方法】</b></p> <p>(1) 全国学力・学習状況調査における生徒質問紙の項目の中の総合的な学習の時間についての質問項目の肯定的割合の上昇</p> <p>(2) 授業力チェックシートにおける肯定的割合の上昇</p> <p>(3) 総合的な学習の時間で育った学力についての調査における肯定的割合の上昇</p> <p><b>【推進方法】</b></p> <p>○研究主任として、授業づくり部会キャップと検討を行い、研究推進を行う。</p> <p>○先進校視察の中核として活動し、視察で得たことを校内外に広め、実践していく。他校のアイデアや取組を積極的に取り入れる。</p> <p>○日々の授業で、生徒による授業アンケートを作成・集計を行い、生徒の理解度や希望していることを授業に取り入れるための研究を推進する。</p> <p>○各教科ごとの年間指導計画に基づいた単元計画表の見直しと新規作成を行う。</p>			
期待する成果	<p>(1) 主体的・協働的に課題を解決する探究的な授業が日常化され、学習意欲の高まりや学力調査の正答率の上昇がみられる。</p> <p>(2) 探究的な視点に立った授業等を県内の各校へ発信し、研究の普及を図ることができる。</p> <p>(3) 探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業における取組を高知県内に発信することにより、第2期高知県教育振興計画の実施計画及び到達目標等に寄与できる。</p>			